

まつりに集まる、みよたの心



龍神まつり

(毎年7月最終土曜開催)

甲賀三郎伝説に基づいた夏を代表するお祭りです。全長45メートルと30メートルの龍は、真楽寺での開眼式の後、駅前・龍神の杜公園に移動。ステージ発表や、龍神太鼓、舞踊流しなど夜9時まで賑わいます。



浅間しゃくなげ公園まつり

しゃくなげが見頃となる春に開催されるお祭りです。100本以上のしゃくなげが咲き誇るなか、地元の食材を使った飲食屋台やさまざまな催しが楽しめます。



小田井宿まつり

文久元年、皇女和宮が降嫁の際、小田井宿に立ち寄り、給仕の少年が人形を拝領したと伝えられています。その様子を地域住民の手作りによって再現したお祭りです。毎年8月16日に開催。



ふれあい広場

御代田町社会福祉協議会が中心となって毎年5月に開催。近隣市町村の共同作業所や、各区の屋台も出店。ステージでもさまざまな発表がされ、年々盛大になっています。

冷涼な気候に恵まれ、ブランドとして成長した高原野菜



レタスの収穫

農業経営基盤の強化と、担い手の育成確保に向けて

冷涼な気候を活かしたレタスなどの高原野菜の栽培が盛んで、県内有数の産地として全国に知られています。しかし、御代田町でも農業者の高齢化や耕作放棄地の増加など、農業を取り巻く環境は深刻です。新規就農者の育成支援や耕作放棄地の有効活用、農業の6次産業化などにより、この地域が優良な生産地であり続けるよう、個性と競争力のある農業を推進していきます。



ブロッコリー



黄金の稲穂

澄んだ空気と豊かな水を利用し、発展する精密機器・食品加工業



ミネベア株



レーマン製菓株



シチズンファインデバイス株



日穀製粉株



シチズンマシナリー株



ミネベア(株)が製造する外径1.5mmのスチール製ボールベアリングが、平成27年5月に世界最小の量産可能なボールベアリングとして、ギネス世界記録に認定されました。

御代田町の主な工場誘致 ●昭和35年御代田精密株(現シチズンファインデバイス株) ●昭和37年レーマン製菓株 ●昭和38年日本ミニチュアベアリング(現ミネベア株)、シメオ精密株(現シチズンファインデバイス株) ●昭和42年オークサレディコン株(現信濃生コン) ●昭和43年浜野皮革工芸株 ●昭和47年アサヒ紙工株 ●昭和58年シチズン精密株(現シチズンマシナリー株)、平和産業株 ●平成17年日穀製粉株

御代田町の認定特産品(平成28年度 現在)

- 御代田のお菓子
- 手作り味噌・昔ながら
- 七割そば
- 古代米(紫黒米)
- おにかけうどん
- 兎巾みそ(キビ入り)
- 信州八割そば
- 中山道・心楽deあん
- 石臼挽きそば
- 純そば茶
- ピンパッジ・エンブレム

